

臨床につなげる基礎!

～将来の薬剤師国家試験へ 向けた対策～

近年の薬剤師国家試験(以下、国試)では、臨床系の科目のみならず、基礎科目(物理、化学、生物)や衛生についても、臨床現場を意識した問題が多く出題されています。今後は、基礎的な知識を修得するだけでなく、「臨床現場でどう応用されているか」ということも意識して学修を進めていただきたいです。今回はフルカラーでより見やすくなって発刊される国試参考書(新青本)の活用例も含めて、学修のポイントをお伝えします。

物理

■領域における特徴、出題傾向

臨床現場で実際に使用している臨床機器の原理に関する出題や、医薬品の物性に関する出題など、**臨床を意識した出題**が多いです。臨床で実際に使用する臨床検査機器の原理など興味を持って学修していきましょう。

■第104回薬剤師国家試験出題例

問201(参考正答率30% 解答2、4)※連問のうち1問を抜粋

健康フェアで行われている血糖値の簡易測定においては、グルコース脱水素酵素あるいはグルコース酸化酵素が用いられており、検出には酵素比色法及び酵素電極法が用いられている。今回用いられている血糖値測定法に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 グルコース脱水素酵素を用いる血糖値測定法では、マルトースは測定の妨害とならない。
- 2 グルコース酸化酵素を用いる血糖値測定法では、酵素反応によって生じた過酸化水素が利用される。
- 3 グルコース酸化酵素を用いる酵素比色法では、波長215nmの光が用いられる。
- 4 グルコース脱水素酵素及びグルコース酸化酵素を用いる血糖値測定法では、指に付着した果汁中のグルコースが測定の妨害となる。
- 5 酵素電極法においては、酵素がグルコースと反応した際に酵素自体に生じる電位差変化を検出する。

■出題例のPOINT

実践問題では、臨床現場で用いられる分析法の原理・装置に関して多く出題されています。

医学アカデミー 薬学ゼミナール



茂木 雄輔
物理科目責任者



林 美樹子
化学科目責任者



小林 あつみ
生物科目責任者



菊池 聡
衛生科目責任者

■領域における学修方法のアドバイス

実践問題で出題の多い範囲は、**反応速度論、画像診断法、分光分析、センサー・ドライケミストリー**です。単なる暗記だけではなく、内容を理解しながら学修を進めていきましょう。新青本では、画像診断法や臨床診断法などについて、イメージしやすいようにカラー化して掲載しています。

■新青本掲載：代表的なドライケミストリー

●尿検査試験紙



化学

■領域における特徴、出題傾向

必須・理論・実践問題を通して「暗記」ではなく、「**構造をみて判断**」する問題が多く見られます。基本的な知識の修得と共に、「**知識を構造に結びつけ**」

臨床に役立つ知識満載の『漢方実践書』



【医療用漢方製剤・構成生薬解説】

基礎からの漢方薬

第4版

「漢方医学」
「漢方の基礎理論」
「調剤、服薬指導」
「生薬・方剤」

などを図表やカラー写真を多数使い、わかりやすく解説!

著 金成俊
(横浜薬科大学教授)
B5判/340頁
定価 5,000円+税



詳細はこちら